

環境を守り、資源を生かす

シップリサイクル シンポジウム in 大分

- 2010年7月31日(土)
13:20~16:30(開場13:00)
- 大分県立総合文化センター
(iichiko音の泉ホール)
- 定員500名/参加無料



Bangladesh 船舶解体現場(写真提供:船)海上技術安全研究所



先進国型シップリサイクルのパイロット事業が行なわれている宮園港埠頭



プログラム

■第1部 基調講演 13:30~14:50

講師 加藤 光一氏(国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長)

清水 一道氏(室蘭工業大学もの創造系領域 准教授)
(室蘭シップリサイクル研究会 座長)

吉川 正道氏(財団法人日本船舶技術研究協会 審議役 業務グループ長)

高野 裕文氏(財団法人日本海事協会 材料艙装部長)

■第2部 パネルディスカッション 15:10~16:30

パネリスト:

加藤 光一氏(国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長)

仲條 靖男氏(株式会社日本海洋科学 海外事業グループ 計画部長)

吉川 正道氏(財団法人日本船舶技術研究協会 審議役 業務グループ長)

高野 裕文氏(財団法人日本海事協会 材料艙装部長)

和田 久継氏(大分県工業団体連合会 代表幹事)
(三和酒類株式会社 代表取締役社長)

コーディネーター:

清水 一道氏(室蘭工業大学もの創造系領域 准教授)
(室蘭シップリサイクル研究会 座長)

問い合わせ先

室蘭シップリサイクル研究会 座長 清水 一道

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27-1 室蘭工業大学 清水研究室

Tel:0143-46-5971 Fax:0143-46-5651

大分シップリサイクル研究会 事務局

〒870-0037 大分県大分市東春日町17-20 ソフトパークセンタービル内 財団法人大分県産業創造機構

Tel:097-534-5019 Fax:097-534-4320

主催: 室蘭シップリサイクル研究会

共催: 日本財団, 財団法人日本船舶技術研究協会(JSTRA), 大分シップリサイクル研究会

協賛: 財団法人日本海事協会(ClassNK), 大分県興業種団体協議会

S.R.Project

JSIRA

ClassNK



日本財団
The Nippon Foundation

シップリサイクルシンポジウム⑩大分プログラム ■2010年7月31日(土)

13:20 - 13:30	開会挨拶
第一部 基調講演	
13:30 - 13:50	加藤 光一氏(国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長) 「我が国におけるシップリサイクル政策について」
13:50 - 14:10	清水 一道氏(室蘭工業大学もの創造系領域 准教授, 室蘭シップリサイクル研究会 座長) 「先進国型シップリサイクルシステム室蘭パイロットモデル事業」
14:10 - 14:30	吉川 正道氏(財団法人日本船舶技術研究協会 審議役 業務グループ長) 「現存船インベントリの作成について」
14:30 - 14:50	高野 裕文氏(財団法人日本海事協会 材料艦装部長) 「新造船のインベントリ作成とシップリサイクルにおける船級協会の役割」
14:50 - 15:10	休憩
第二部 パネルディスカッション テーマ「シップリサイクルを巡る最近の動き」	
15:10 - 16:30	<p>パネラー:</p> <p>加藤 光一氏(国土交通省海事局船舶産業課 国際業務室長) 仲條 靖男氏(株式会社日本海洋科学 海外事業グループ 計画部長) 吉川 正道氏(財団法人日本船舶技術研究協会 審議役 業務グループ長) 高野 裕文氏(財団法人日本海事協会 材料艦装部長) 和田 久継氏(大分県工業団体連合会 代表幹事, 三和酒類株式会社 代表取締役社長)</p> <p>コーディネーター: 清水 一道氏(室蘭工業大学もの創造系領域 准教授, 室蘭シップリサイクル研究会 座長)</p>

※プログラムは予告なく変更される場合があります。予めご承知おきください。

室蘭シップリサイクル研究会



ごあいさつ

室蘭港を中心に、製鉄、製鋼、造船のまちとして発展してきた北海道室蘭市において、環境保全型の船の解体を行い有効資源として再利用することが、具体的に可能なのか、それはまた産業として成立するのか、という研究会を、産学官が連携し発足しました。

世界に冠たる造船国である我が国が、“人間にも環境にも優しい”シップリサイクルシステムを確立できるよう全国各地域と連携しながら取り組んで参ります。

室蘭シップリサイクル研究会 座長 **清水 一道**
 室蘭工業大学 准教授

活動内容◎平成20年度「地方の元気再生事業」(内閣府)に選定され、途上国でのシップリサイクルの現状と、地域での産業化について理解を深める市民向けシンポジウムの開催や、道内企業と室蘭工業大学が、利尻島沖で座礁した船の解体を行い、自動車鋳物などへの再利用についての検証を行っています。産学官連携によりシップリサイクルシステムを構築し、地域経済の活性化を目指しています。



利尻島沖で座礁した船の解体風景



座礁船解体の様子



高水圧で船を切断するウォータージェット



鋼船から採取した厚板



シップ溶解実験



鋳鉄造型の工程



厚板を溶解し、成分調整した鋳鉄



研究会によるパネル展示



室蘭シップリサイクル研究会事務局

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27-1 室蘭工業大学内
 Tel:0143-46-5971 Fax:0143-46-5651